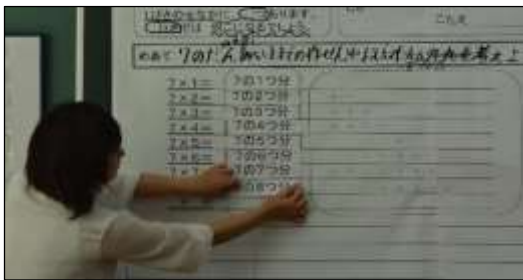


### 3 説明の工夫

授業では、教師が児童生徒に学習内容等の説明や指示をする場面が多くあります。そのため、教師の話し方の工夫や電子黒板等のICTの利活用、黒板の使い方や教材の工夫等を行うことが大切です。それにより、教師の説明や指示の内容が分かりやすくなることで、児童生徒は学習内容の理解を深めることができるようになりますと考えます。これらに配慮した支援例を紹介します。

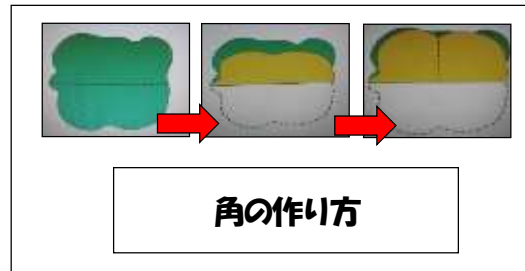
#### 支援例

【小学校】 ワークシートを拡大したものを黒板に提示する



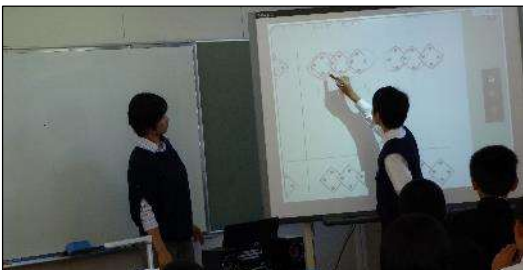
注目する箇所を分かりやすくするために、ワークシートを拡大したものを提示する。

【小学校】 視覚的な情報を提示しながら説明する



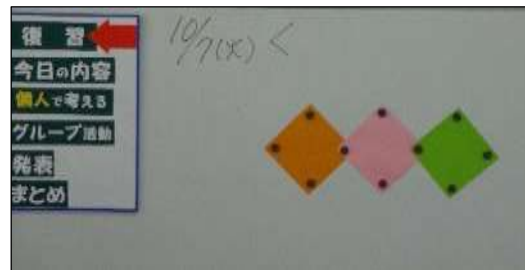
画用紙を使った直角の作り方を分かりやすくするために、直角の作り方の手順を電子黒板に提示する。

【中学校】 書画カメラと電子黒板で発表者のワークシートを提示する



グループで話し合ったことが全体に伝わるように、発表者のワークシートを書画カメラと電子黒板で提示し、タッチペンで書き込ませながら説明させる。

【中学校】 具体物を用いて説明する



課題の解決方法に見通しをもちやすくするために、口頭だけでなく、折り紙とマグネット等の具体物を用いて説明する。

【高等学校】 具体物を用いて説明する



学習課題を把握させやすくするために、校内で栽培している稲を提示する。

【高等学校】 ワークシートを電子黒板に提示する



要旨に気付きやすくするために、生徒に配付したワークシートを電子黒板に提示する。

## その他の支援例

<p>教師の話し方を工夫する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に聞こえる声の大きさで話す。</li> <li>・話す速さに気を付ける。</li> <li>・抑揚を付けて話す。</li> <li>・キーワードを基に伝える。</li> <li>・説明は端的に行う。</li> <li>・「いつ」「どこで」「誰が」等を使いながら話す。</li> <li>・「1つ目は」「2つ目は」と冒頭に数字を示しながら、内容を整理して話す。</li> <li>・「大事なことを言います」「質問は最後に聞きます」と前置きをしてから話す。</li> <li>・結論や要点を最初に話し、説明を後から加える。</li> <li>・注目を集めるために、指導場面に合わせて教師の立つ場所を変えて話し始める。</li> <li>・実物を提示したり、掲示物を指し示したりしてから話す。</li> <li>・児童生徒の活動の前後、もしくは活動を止めてから指示や説明をする。</li> </ul>
<p>黒板の使い方を工夫する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の後ろから見える文字の大きさや行間で板書する。</li> <li>・板書の様式を決めておく(左から右に書く、めあてやまとめを書く箇所を決めておく等)。</li> <li>・キーワードは、赤や黄などチョークの色を変えながら板書する。</li> <li>・板書の際、どの授業でもアンダーラインや重要語句を囲む色を決めておく。</li> <li>・日付や学習する教科書等のページ数を板書する。</li> <li>・学習の流れに沿った板書を残す。</li> <li>・児童生徒の様々な意見やその関係性が見えるように板書する。</li> <li>・書き間違いやすい漢字は、大きく板書する。</li> <li>・文章問題とともに図や挿絵を提示する。</li> <li>・図や絵を結ぶなどしながら、語句や数字の関係性を捉えさせる。</li> <li>・授業用と掲示用の小黒板を使い分ける。</li> <li>・ワークシートと一致した板書にする。</li> </ul>
<p>ワークシート等の教材の用い方を工夫する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科ごとにワークシートの様式を統一する。</li> <li>・穴埋め式のワークシートを準備し、書き込ませる。</li> <li>・書き込む箇所に番号を振る。</li> <li>・授業でのキーワードをワークシートに挙げておく。</li> <li>・話し合う際のテーマをワークシートに提示しておく。</li> <li>・文章の構成を分けたワークシートを準備する。</li> <li>・定型文や語句の選択肢を提示する。</li> <li>・発音しにくい英単語に片仮名で発音を表記した語句リストを準備する。</li> <li>・本時の学習で用いる定型文や定型文に合う例文や単語を提示する。</li> <li>・フラッシュカードを使って提示する。</li> </ul>
<p>電子黒板等のICTを利活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードや図、写真を提示する。</li> <li>・ワークシートと同じものを提示する。</li> <li>・実験等の手順を提示する。</li> <li>・要点やキーワードに下線を引いたり枠で囲んだりする。</li> <li>・図や絵をマーカーで結ぶなどしながら、語句や数字の関係性を捉えさせる。</li> <li>・グラフ等にアニメーションを取り入れ、その推移を視覚的に捉えさせる。</li> <li>・定型文や語句の選択肢を提示する。</li> <li>・発音しにくい英単語に片仮名で発音を表記した語句リストを準備する。</li> <li>・本時の学習で用いる定型文や定型文に合う例文や単語を提示する。</li> </ul>